

曇雨天に対する施設農作物の管理について

令和6年2月22日
農業技術課

県内では、今週に入り曇雨天が続いていますが、甲府地方気象台の週間天気予報によると、今週末から来週にかけても曇雨天となる見込みです。今後の気象情報に注意し農作物の管理を実施して下さい。

山梨県の天気予報（7日先まで）									
2024年02月22日11時 甲府地方気象台 発表									
日付	今日 22日(木)	明日 23日(金)	明後日 24日(土)	25日(日)	26日(月)	27日(火)	28日(水)	29日(木)	
山梨県	雨後曇 	曇時々雨か雪 	曇時々晴 	曇一時雨か雪 	曇一時雨 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇 	
降水確率(%)	-/-/60/40	50/50/40/10	20	70	50	20	30	40	
信頼度	-	-	-	B	C	A	A	B	
甲府 気温 (℃)	最高	9	8	12 (9~14)	9 (7~11)	11 (9~14)	11 (9~14)	10 (7~13)	11 (8~16)
	最低	-	5	1 (-1~2)	1 (-1~3)	2 (-1~3)	-1 (-2~1)	-1 (-3~2)	1 (-2~3)
向こう一週間（明日から7日先まで）の平年値									
降水量の7日間合計				最低気温		最高気温			
甲府	平年並 3 - 18mm				0.9℃		12.4℃		

施設栽培

1 果樹

<共通>

- 曇雨天が続くハウス内の湿度が高い場合は、加温機や循環扇を稼働するなど、多湿にならないように注意する。
- 生育ステージごとにハウスの栽培基準を目安にハウス内の温度を管理する。曇雨天の合間に日が差す時などは、ハウス内の急激な温度上昇に注意する。

<ブドウ>

- 防除暦に準じた中で灰色かび病等の防除を徹底する。
- 開花期から落花結実期の場合は、灰色かび病対策としてビニールマルチを敷くとともに、落花期に花カスをていねいに落とす。

2 野菜

- ほ場が過湿にならないよう、排水路を設けるなど排水対策を徹底する。
- 施設やトンネル内が過湿にならないよう換気を行う。
- トマト、キュウリ、イチゴ等の施設の果菜類では、軟弱徒長となりやすいことから、作物の生育状況に応じた施肥やかん水管理に務める。
- は種期を迎えているスイートコーントンネル栽培では、地温が低く、土壤水分が多くなると発芽不良等の原因となるため、は種は、地温が上がり土壤水分が適切な状態で行う。
- 灰色かび病などの病害が発生しやすくなるので、病葉や病果の早期除去と適切な薬剤散布により、病害発生防止に努める。

3 花き

- 施設花きでは、灰色かび病などの病害が発生しやすくなるので、病株等の早期除去と適切な薬剤散布により病害発生防止に努める。
- 鉢間隔を広げたり、生育状況に応じた適切な施肥管理により軟弱徒長になるのを防ぐ。